

2022年度 日本工学院専門学校											
C G映像科											
プロジェクトワーク 9											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	藤原 隆洋			実務経験	有	職種	美術家				
担当教員紹介											
立体造形アーティストとして国内外で創作活動・作品発表・メディア掲載多数。デッサンに限らず発想法、彫刻など、創作と応用について指導をする。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、形態、構造、質感、光、空間等を正しく把握・表現できる描写の基本スキルを確認するとともに、様々な描写方法・描画素材を試行し身につけることで描写概念を展開する。また、対象物に対し、あらゆる視点・観点からの観察を習得し、全ての創作活動の根幹となる、物事の本質を捉えることの意味と重要性を理解する。この授業で養われる表現力（造形力）・観察力は、CG制作において、より質の高い表現として活かされ、完成度の高い作品づくりへとつながる。											
到達目標											
・テーマ毎に画材用具・描画方法を検討し、その画材の特徴と使用法を充分に理解し、適切に扱うことができる。 ・制作に必要な集中力と持続力を能動的に持つことができる。 ・構図のねらいを明確にし、イメージを的確に伝えることができる。 ・光の設定をコントロールし、画面を演出する工夫ができる。 ・人体構造を理解し、プロポーションを正確に描けるとともに、短時間で的確に捉えることができる。											
授業方法											
この授業では、1,2年次のデッサン授業で培った技能を発展させ、表現と知識をさらに深める。さらに、時間内での制作工程、スケジュール管理を各自が計画し、完成度の高い作品制作を目指す。また、画材や表現方法にも着目し、画材の特性や効果を理解しながら、ビジュアル表現の幅を増やし、CG制作に応用する。											
成績評価方法											
課題作品	80%	作品の完成度、目標到達度等により評価									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度により評価									
履修上の注意											
授業中の制作態度、時間・用具の管理には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。課題作品を提出しても、授業出席率75%未満の者は不合格とする。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、随時授業内に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス/制作計画・素材・技法等の説明：制作内容・工程を計画し制作準備をする										
第2回	静物描写/静物着彩 制作1：形態・構図を修正・確認する										
第3回	静物描写/静物着彩 制作2： 光の設定、明度計画を確認する										
第4回	静物描写/静物着彩 制作3： 描写密度等、画面のバランスを確認する										
第5回	静物描写/静物着彩 制作4： 作品完成度を高める										

2022年度 日本工学院専門学校	
C G映像科	
プロジェクトワーク 9	
第6回	風景描写/風景着彩 制作1：スケッチからテーマを決定する
第7回	風景描写/風景着彩 制作2：下書き、構図・パースを確認する
第8回	風景描写/風景着彩 制作3：明度・遠近感を確認する
第9回	風景描写/風景着彩 制作4：描写密度等、画面のバランスを確認する
第10回	風景描写/風景着彩 制作5：作品完成度を高める
第11回	人体描写 制作1：クロッキー、プロポーション・動きを確認する
第12回	人体描写 制作2：プロポーション・動きを確認する
第13回	人体描写 制作3：骨格・筋肉・量感を確認する
第14回	人体描写 制作4：画面のバランス・完成度を確認する
第15回	作品ブラッシュアップ/講評会：各自の問題点を認識するとともに、修正・成果へつなげるポイントを確認する